

感染症発生状況

令和8年7月17日

各保育施設の長様

盛岡市子ども未来部子育てあんしん課長

令和8年6月29日（月）～7月3日（金）の定点における発生状況をお知らせします。

定点23園の対象園児数（定員）は2,502名です。

この週の延べ欠席者数 【園児】195名 【職員】なし

1日あたりの延べ欠席者数 【園児】39名

欠席理由の主なもの（下記の人数は延べ人数です。）

【園児】症状別：熱（93名）、咳鼻水（38名）、発疹（8名）、嘔気嘔吐（4名）

疾病別：溶連菌感染症（14名）、手足口病（6名）、胃腸炎（5名）

【職員】症状別：なし

疾病別：なし

**暑さとともに夏風邪（手足口病、ヘルパンギーナ、咽頭結膜熱）が流行しはじめています。
保育園では手洗い励行をお願いします。**

【疾病別の発生状況】

溶連菌感染症 厨川地区、河北地区で増加しました。河南地区、都南地区で減少しました。

手足口病 河北地区で増加しました。

胃腸炎 河北地区で増加しました。

厨川地区、盛南地区、河南地区、都南地区で減少しました。

【県の状況（6/22～6/28）】

手足口病の定点当たり患者数は0.59人となりました。二戸地区で警報値（5.0人）を超えています。全国では患者数の増加が続いており、本県でも今後増加することが懸念されます。口の中や手足に水疱を伴う複数の発疹が現れます。子供を中心に主に夏に流行する感染症です。飛沫感染、接触感染、糞口感染で広がります。乳幼児が集団生活をする保育施設や幼稚園では特に注意が必要です。予防には、石けんと流水による手洗いの励行、タオル等の共用を避ける、おむつ交換時等の排泄物の適切な処理が有効です。

溶連菌咽頭炎の定点当たり患者数は3.30人となりました。県央地区では3週連続で警報値（8.0人）を超えています。本症は発熱や全身倦怠感、咽頭痛を主症状とする細菌感染症です。予防には、患者との濃厚接触を避けること、手洗いの励行、咳エチケットが有効です。

水痘の定点当たり患者数は0.67人となりました。中部地区で警報値（2.0人）を超えています。水痘はいわゆる「みずぼうそう」のことで、主に小児の疾患ですが、まれに成人でもみられ、肺炎や脳炎など重篤な合併症を起こす場合があります。空気感染、飛沫感染、接触感染により広がります。予防にはワクチン接種が有効です。

◆岩手県新型コロナウイルス感染症関連情報

<https://www.pref.iwate.jp/kurashikankyuu/iryou/covid19/index.html>

【盛岡市医師会（感染症対策委員会）】

質問・相談先 盛岡市医師会幼稚園保育園部会

電話 625-5311 ファックス 651-9822

【担当 盛岡市役所子育てあんしん課育成係 電話613-8347（ダイヤルイン）ファックス652-3424】